

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより第16号
(令和5年10月)
文責 西澤 庄藏



懸命な走り、懸命な応援があり、感動に浸ることができた駅伝競技大会でした。

10/4(水)久吹ダム周回コースにて平戸市中学校総合体育大会駅伝競技が開催され、本校選抜選手も出場しました。市内8中学校から男女1チームずつ出場して健脚を競いました。

女子は、ハラハドキドキの展開でしたが、2位を死守してゴールしました。男子は、第4走者から先頭に立ち、そのまま1位でゴールしました。「コロナ」感染が流行しつつある中、選手のコンディションが気になりましたが、一人の落伍者もなく無事に完走できたことが何よりでした。レース後に緊張感が解き放たれた選手に、満面の笑みがあるなど、満足いく結果だったと言えます。ちなみに、男子の部で鶴丸さん(2-2)、森下さん(2-1)、小田さん(3-1)、西島さん(3-2)は区間賞を獲得しました。総じて、懸命な走りや懸命なサポートが見られ、控えメンバーも含め「チーム田平」選手団に大きな拍手を送りたい心境でした。

男女とも県大会の切符を勝ち取りました。来る11/9(木)諫早市のトランスコスモスタジアム長崎ジョギングコースにて行われる県大会でも記録更新を目指してさらに奮起することを期待しています。



西島選手は6区で区間賞獲得と同時に大会新記録も樹立しました。



レース後の集合写真から(達成感に満ちた表情でした。)



卒業後の進路選択に向けて心構えを確固たるものにすべく親子の説明会を開催しました。

10/6(金)3年生で生徒・保護者を対象に進路説明会を実施しました。来る高校入試に向けて学年全体で取り組む意識を高めることはもちろん、現在の高校入試制度を正しく知ること、さらに、進路事務(手続き)に関する今後のスケジュールを知ることが目的に実施されました。今や公立高校も入試制度改革真っ只中で、前期選抜、後期選抜と2回の入試スタイルがあるなど、近年、入試スタイルが変貌を遂げていて、そのルールを知ることが今後の進路選択の出発点と言えます。

当日は、「説明会」の名のとおり説明を聞くことが主でしたが、親子共々真剣な態度で臨む姿が印象的でした。特に、実際の公立高校受検・私立高校受験を想定してパターンを紹介した箇所は、家族会議のもとになる貴重な事項だと思いました。

「コロナ」感染が懸念される中でしたが、多くの保護者の皆様にご参加いただきました。お子様のこととは言え、お時間を割いて駆けつけてくださり、ありがとうございました。



保護者の皆様へ PTA 除草作業の終了について (お礼)

10/7(土)PTA主催で除草作業を実施していただきました。今年度も佐世保特別支援学校北松分校小学部・中学部PTAとの合同事業で実施されました。

この除草作業に、大勢の方々にご来校いただきました(生徒も有志で参加してくれました)。改めて多くの方々に支えられて学校が成り立っていることを実感したしだいです。学校を代表して厚くお礼申し上げます。いただいたご厚情は生徒の躍動する姿をお見せすることで還元したい意向です。10/20(金)には文化祭・合唱コンクールを開催します。お時間の許す範囲でご来校いただければ、この上ない幸いです。

ご協力いただき、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。